

第4編 計画の推進

第1章 進行管理の考え方

「松田町第6次総合計画」を計画的に推進していくためには、8年後のビジョンを明確にし、計画期間4年間のアクションプログラムに掲げる施策にしっかりと取り組んだ上で、その結果について検証し、計画期間8年間の基本構想・基本計画に掲げる目標・方針が達成されるよう、絶えず修正や改善を行っていく必要があります。また、計画の進捗にあたっては、町民への説明責任が果たせるよう取組の進捗状況を明らかにしていく必要があります。

そのため、アクションプログラムは、目標・方針の実現化に向けた実行計画としての役割もあることから、今後、本計画の進行管理として、PDCA サイクルを導入し、本計画（PLAN）に基づく施策・事業の実施（DO）、取組の進捗状況や目標指標の達成状況等については毎年度評価・検証（CHECK）を行い、必要に応じて4年ごとに計画への反映・見直し（ACT）を行います。

また、松田町自治基本条例に掲げるまちづくりの基本原則である「情報共有」、「参加」、「協働・連携協力」の考え方に基づき、PDCA サイクルの各段階で町民が参画できる仕組みを取り入れながら、町民と行政が一体となった計画推進を図ります。

■PDCA サイクルと町民との関わりのイメージ



■進行管理の流れ

